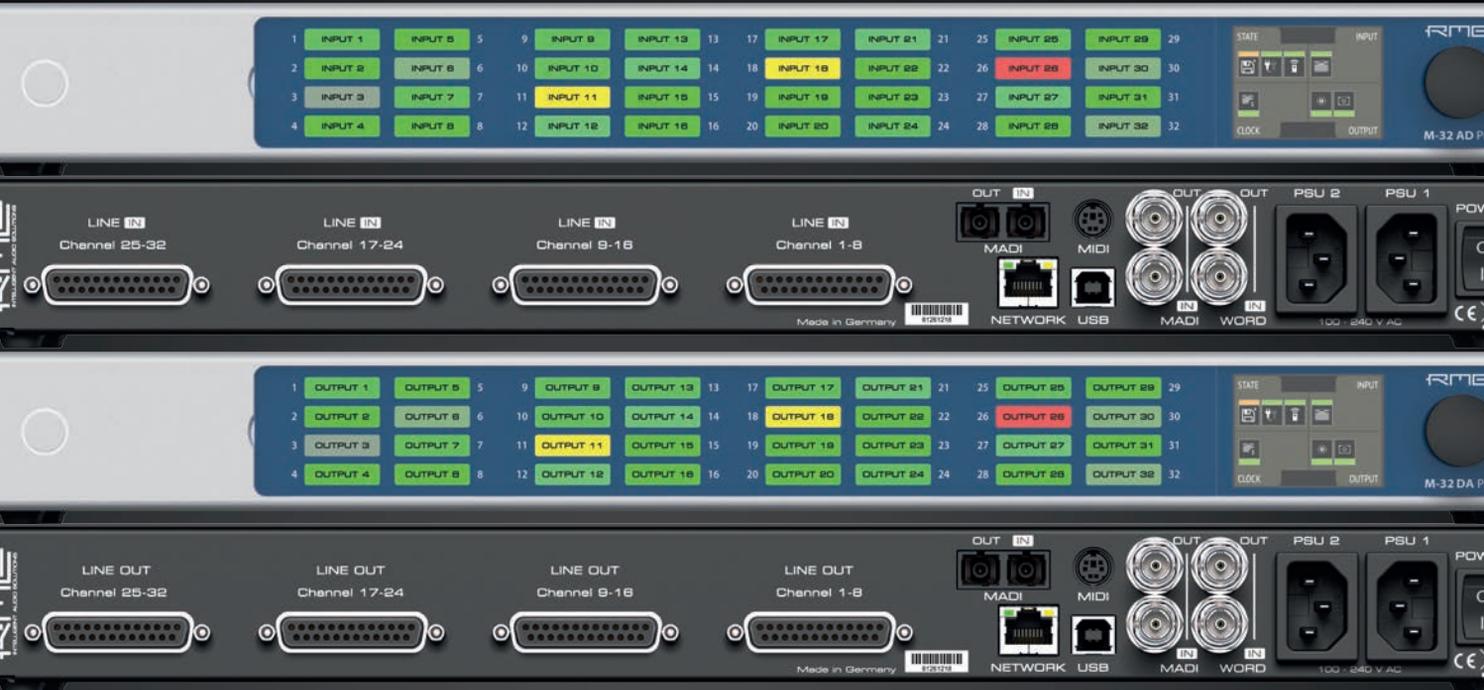


Dante / AVB / MADI Series

# オーディオ伝送の新しいスタンダード



RME

# M-32 AD Pro / M-32 DA Pro

32チャンネルハイエンドMADI / AVBコンバーター

M-32 AD ProとM-32 DA Pro (以下、M-32 Proシリーズ) は、すべてのチャンネルに卓越したオーディオ品質を備えた、多目的マルチチャンネル・フォーマット・コンバーターです。ハイエンド・オーディオ品質のコンバーターをはじめとする最高水準のコンポーネントを、コンパクトな1Uラック・サイズに収めています。ポイント・トゥー・ポイント伝送のデファクト・スタンダードであるMADI、そしてオープン・スタンダードという利点と、その高い堅牢性により多くの現場にて採用が始まっているAVB。その2種の伝送規格が融合したM-32 Proシリーズを使えば、誰でも簡単にデジタル・オーディオ信号をMADIとAVB経由にて送受信することが可能です。

## モダン・プロダクションへの最適ソリューション

M-32 AD ProとM-32 DA Pro (以下、M-32 Proシリーズ) には、二重化電源、コンパクトな筐体、ネットワーク機能など、ユーザーからM-32 AD / DAに寄せられた数々の要望が反映されており、最先端のプロダクション環境や多様なインストール環境に最適なソリューションです。

## アナログ<>デジタルの新たなリファレンス

最新の高解像度コンバーター・チップと完全なバランス・アナログ回路デザインを纏ったM-32 Proシリーズは、極めて低いTHD値と、120dB(A)のS/N比を実現した、真のリファレンス・クラス・コンバーターです。

## リニアな特性、そして透明な音質

M-32 Proシリーズのそれぞれのチャンネルは最大192kHzのサンプリング周波数でのAD / DA変換に対応します。また内部フィルタはADI-2 Proの内部フィルタをベースに開発を行い、0Hzまで完全にリニアな周波数応答を実現しています。

## 世界標準の互換性

接続先となる様々なハードウェアとの互換性を最大限に高めるため、M-32 Proシリーズではそれぞれのチャンネルを異なるリファレンス・レベル\*で個別に設定が可能。接続先のデバイスがどのような機器であってもコンバーターの性能を最大限発揮することができます。

\*レベルの切り替えは、+24 dBu、+19 dBu、+13 dBu @ 0 dBFSに対応。

## AVB - ネットワーク信号伝送の未来

M-32 Proシリーズは、自由にルーティングが行える2系統のMADI I/Oに加え、オープン・ネットワーク規格IEEE 802.1および1722.1に基づくAVBインターフェイスを備えています。そのためM-32 ProシリーズでMADI / AVBを使用する際は、サンプル・レートが最大の192kHzを使用しても32チャンネルすべてのAD (またはDA) が可能です。

また、AVB対応のスイッチング・ハブを使用することで、AVBプロトコルの包括的な同期信号処理の恩恵を受けることができ、複雑なネットワーク構造であっても簡単にスピーディーにそして確実に、機器の追加や構成の変更が行なうことができます。

## シームレスなコントロール

IEEE 1722.1で定義されているAVDECCプロトコルにより、様々なメーカーの外部コントローラを使用してM-32 Proシリーズを制御することができます。さらにネットワーク接続やUSBポートを使い、WebインターフェイスとJSON APIを使ったコントロールも可能です。

## すべてをひと目で確認

M-32 Proシリーズにはパネルに挟んで使用するトレーシング・ペーパーが付属しており、そのシートにユーザーがチャンネル名を記入することでそれぞれのチャンネル・ラベルを作成することができ、ひと目でアナログ・チャンネルの割当が確認できます。またフロント・パネルのLEDはレベル・メーターとして使用できるので、暗い環境や離れた場所からでもひと目で全チャンネルのレベルを確認することができます。



直感的な操作性



1GigE ネイティブ AVB サポート

MADI & Word Clock 入出力搭載



リダンダント電源



MADI <-> AVB コンバート

32<sup>Ch.</sup>



32<sup>Ch.</sup>

## Digiface Dante

256チャンネル 192 kHz USB オーディオインターフェイス

Digiface Danteは、多くのRME製品で採用されている「MADI」と、様々な現場で運用されているオーディオ・ネットワーク技術「Dante」を搭載し、MADI\*とDanteをTotalMix FXとDanteコントロール・ソフトウェアを用いて自由にミキシング/ルーティングできるコンパクトなオーディオ・インターフェイスです。

コンピューターとの接続はUSB 3.0を使い、オーディオ・インターフェイス市場において非常に定評のあるRMEのドライバー技術により、低レイテンシーと安定性は従来どおりに、256チャンネルものオーディオ・データを直感的に扱うことができるデバイスとなります。

さらに、その小さな筐体にはヘッドフォン出力も備わっており、ヘッドフォンによるモニタリングはもちろん、ステレオ・ライン出力として活用することもできます。

Danteネットワークと接続を行うイーサネット・ポートは、プライマリとセカンダリをそれぞれ2つ、計4つ搭載し、冗長性を備えるだけでなく、4ポートのスイッチング・ハブとしても活用することができます。また、コンピューターとの接続を行わないスタンドアローン・モードにも対応しており、スタンドアローン時は、シンプルな「Dante<->MADIコンバーター」として機能します。また事前に設定しておくことで、任意のミックスをヘッドフォン・モニタリングすることも可能です。

\* MADIコアキシャル入出力端子はワード・クロック入出力端子と切り替えて使用。



**Dante**  
supports AES67

最大256チャンネルのオーディオ伝送をコンピューターとオーディオネットワーク間で行います。TotalMixによる制限のないミキシング、ルーティングをお楽しみください。

## Digiface AVB

256チャンネル 192 kHz USBオーディオインターフェイス

Digiface AVBは高い利便性と拡張性で期待されているオーディオ・ネットワーク技術「AVB」に対応し、TotalMix FXとAVDECCコントローラー・ソフトウェアを用いて自由にミキシング/ルーティングが行えるコンパクトなオーディオ・インターフェイスです。

コンピューターとの接続はUSB 3.0を使い、RMEのドライバー技術により低レイテンシーと安定性は従来どおりに、192kHzのサンプリング周波数で最大128チャンネルもの信号をAVBネットワークに転送・受信が可能です。

また、2~32チャンネル単位でチャンネル・ストリームを管理できるため、市販されているすべてのAVBオーディオ・デバイスと接続することができます。

その小さな筐体にはヘッドフォン出力も備え、ヘッドフォンによるモニタリング以外にもライン出力として活用することもでき、付属するAVDECCコントローラー・ソフトウェアを使用すると、ネットワーク上のすべてのAVBデバイスを検出し、入出力ストリームの管理やモニタリングを行なうことが可能となります。



128<sup>Ch.</sup>  128<sup>Ch.</sup>



128<sup>Ch.</sup>  128<sup>Ch.</sup>



## TotalMix FX and TotalMix Remote

他のRMEオーディオ・インターフェイスと同様に、Digiface Danteでも強力なデジタル・リアルタイム・ミキサーTotalMix FXを使用することができます。TotalMix FXは、すべての入力および再生チャンネルを同時にすべてのハードウェア出力へ事実上無制限にミキシング/ルーティングすることが可能です\*。

TotalMix FXには、Talkback、メイン出力とヘッドフォン出力、フェーダー・グループ、ミュート・グループを備えるコントロール・ルーム・セクションがあり、MackieやOSCプロトコル、その他様々な方法でリモート・コントロールを行なうこともできます。

さらにTotalMix Remoteを使った、iPad、Windows、Macからのリモート・コントロールにも対応。TotalMix Remoteの設定は、TotalMix FXが動作しているホストのIPアドレスを入力するだけで完了し、自宅スタジオから大型ライブ会場まで使用する環境にかかわらず、どこからでもTotalMixをコントロール\*\*することができます。

\* Digiface DanteはDSPを用いたFX機能に非対応です。

\*\* TotalMix FXを動かすコンピューターと、TotalMix Remoteを動かすコンピューターまたはiPadが、同一のネットワークに接続している必要があります。



**RME**